

# 筑摩県博覧会

錦絵の題名

(注) 筑摩県は、明治初期、信濃国におかれた県で、博覧会が松本で開催されました。



(現物は、縦 25 センチ×横 37 センチ。日本銀行貨幣博物館において保存)

明治6年（1873年）に、松本城本丸で開催された筑摩県博覧会の様子が描かれた錦絵です。当代売れっ子となっていた東京の絵師、三代広重（1832～1894年）に書いてもらった「宣伝ポスター」のようなもので、地元がこの博覧会にいかに力を入れていたかがわかります。松本では、全国に先駆け、明治6年という極めて早い時期に博覧会を開催し、その収益を利用して前年に売却され、取り壊しの危機にあった松本城を買い戻し、修復しました。

—— 松本城は、姫路城、彦根城、犬山城とともに四つの国宝城郭です。文禄時代（1593～1594年）に立てられた五重六階の天守閣は、城の中では日本最古です。存続の危機を、市民の情熱により乗り越え、戦国時代そのままの天守が保存されています。